

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	荒海共生プラザ		
指定管理者	荒海区共生施設管理組合		
指定期間	平成25年4月1日	～	平成29年3月31日
施設所管課	空港部空港対策課		3 年目

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	—	—
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	—	—
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	—	—
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	A	A
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか		A	A	
情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
	協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価 (標準19項目・本施設16項目)	A		
指定管理者の自己評価	日報を作成し、月報・年報にとりまとめ、適時報告した。			
施設所管課の評価	該当する評価項目については、良好に実施されている。市との連絡調整については、毎月初旬に月報を提出する際に近況報告がある他、協議すべき事項については、必要に応じて、連絡・報告等を密に行っている。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価	
II サービスの内容や水準に関する評価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	—	—
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	A	A
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	—	—
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	—	—
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
備品台帳により記録が適切に保管されているか		A	A	
市と指定管理者の備品が明確に区別されているか		A	A	
必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか		A	A	
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価 (標準19項目・本施設16項目)	A		

る 評 価	指定管理者の 自己評価	機器の点検や清掃等の日常的な保守管理を適切に実施した。
	施設所管課の評価	該当する評価項目については、良好に実施されている。清掃については、日常的にモップがけ等を実施しており、週に2回はトイレ清掃を行うなど、利用者に安全で、衛生的、快適に施設を利用してもらうように心がけている。

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅲ 収 支 等 に 関 す る 評 価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	—	—
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価(標準6項目・本施設5項目)	A	
指定管理者の 自己評価	各支払証書類を保管し、適正な処理をした。			
施設所管課の評価	該当する評価項目については、良好に実施されている。経理事務については、収支計算等を記載した各種帳簿の整備を行い、適正な管理に努めている。			

評価項目		評価基準	自己 評価	所管課 評価
Ⅳ 目 標 管 理 に 関 す る 評 価	目標①	来館者数を前年度比1%増とする。	A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(標準3項目・本施設1項目)	A	
指定管理者の 自己評価	目標来館者数6,920人に対し、実績6,039人で、87.2%の達成率であった。			
施設所管課の評価	年間の来館者数は、目標であった6,920人には届かなかったものの、中間評価時の見込み通り、6千人を超えた。実績としては決して低い数字ではなく、問題視するものではないと考えている。			

Ⅴ	【総合評価】	I～Ⅳの総括による総合評価	A	
---	--------	---------------	---	--

Ⅵ 特 記 事 項	特に評価される点	健康ルームの運用において、トレーニング主体の場だけでなく、コミュニケーションの場としての活用に努めており、全てのスタッフが業務に対し同じ認識を持ち、質の高いサービスの提供ができるよう、管理運営技術の向上を図り、利用者への「親切・丁寧」な対応を行っている。		
	改善が望まれる点	無し		